



## 平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月11日

上場会社名 シークス株式会社

上場取引所 東大

コード番号 7613 URL <http://www.siix.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村瀬 漢章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 大野 精二

TEL 06-6266-6415

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	121,629	40.4	3,901	146.3	4,164	155.5	2,840	28.7
21年12月期第3四半期	86,624	—	1,584	—	1,630	—	2,206	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	120.37	—
21年12月期第3四半期	93.05	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	61,854	19,310	30.5	800.51
21年12月期	55,498	17,652	31.0	728.23

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 18,891百万円 21年12月期 17,186百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	7.00	—	8.00	15.00
22年12月期	—	8.00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	10.00	18.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,770	28.1	5,010	86.9	5,180	85.2	3,450	20.3	146.19

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 [(注) 詳細は、3ページ【2. その他の情報】をご覧ください。]

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
  - ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年12月期3Q	25,200,000株	21年12月期	25,200,000株
② 期末自己株式数	22年12月期3Q	1,600,364株	21年12月期	1,600,323株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	22年12月期3Q	23,599,654株	21年12月期3Q	23,712,499株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	2
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
【第3四半期連結累計期間】.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(5) セグメント情報.....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の経済環境を顧みますと、わが国経済は、アジア向けを中心とした輸出が弱含みとなり、また昨年からの景気対策による回復テンポがやや緩やかにはなりましたが総じて堅調に推移しました。海外経済は、米国および欧州諸国において失業率が依然として高水準であったものの、景気は緩やかに持ち直しました。アジアでは、中国およびインドにおいて内需を中心に景気が拡大しました。また、その他の多くの新興国では、引き続き輸出・生産が堅調に推移しました。

このような状況下、当社の当第3四半期連結累計期間の売上高は1,216億2千9百万円となり、前年同期に比べて350億5百万円の増加(40.4%増)となりました。これは主に、当社グループのコアとなる電子部門において、デジタル家電機器・基板実装品の出荷が好調を維持したことや、車載関連機器用部材・基板実装品、および情報機器用部材の出荷が増加したことによるものです。利益面では、売上高の増加にともない営業利益は39億1百万円となり、前年同期に比べて23億1千7百万円の増加(146.3%増)となりました。また、経常利益は41億6千4百万円となり、前年同期に比べて25億3千4百万円の増加(155.5%増)となりました。四半期純利益は28億4千万円となり、外国子会社配当金益金不算入制度導入による繰延税金負債取り崩しを行った前年同期に比べて6億3千4百万円の増加(28.7%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ63億5千5百万円増加し、618億5千4百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加によるものです。

負債につきましては、負債合計が前連結会計年度末に比べ46億9千7百万円増加し、425億4千3百万円となりました。これは主に、買掛金の増加によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ16億5千8百万円増加し、193億1千万円となりました。この結果、自己資本比率は、31.0%から30.5%に減少いたしました。

## (キャッシュ・フローの状況)

営業活動の結果、減少した現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、25億6千1百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が41億7千万円となり、仕入債務の増加額49億8千万円の増加要因がありましたが、売上債権の増加額60億4千8百万円、たな卸資産の増加額58億5千万円の減少要因によるものです。

投資活動の結果、減少した資金は、22億9千9百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出12億4千1百万円、投資有価証券の取得による支出1億3千2百万円、および非連結子会社に対する貸付けによる支出8億7千万円によるものです。

財務活動の結果、増加した資金は、10億7千万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出7億1千7百万円、配当金の支払額3億7千5百万円に対し、短期借入金の純増加額17億7百万円、長期借入れによる収入6億円によるものです。

これらの結果、当第3四半期末における連結ベースの資金は、53億4千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ41億3千1百万円の減少(43.6%減)となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成22年8月11日に公表しております平成22年12月期の連結業績予想に変更ありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

(一般債権の貸倒見積高の算定方法)

国内連結会社において、当第3四半期連結会計期間末の一般債権の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(棚卸資産の評価方法)

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判定に関しては、前連結会計年度以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ②特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,359	9,492
受取手形及び売掛金	26,257	22,214
商品及び製品	10,834	6,703
仕掛品	1,077	557
原材料及び貯蔵品	2,348	1,712
その他	1,307	1,306
貸倒引当金	△82	△69
流動資産合計	47,102	41,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,025	4,195
機械装置及び運搬具(純額)	2,807	2,586
土地	2,228	2,256
その他(純額)	311	371
有形固定資産合計	9,372	9,410
無形固定資産		
	879	845
投資その他の資産		
投資有価証券	2,177	1,695
出資金	510	684
その他	2,218	1,352
貸倒引当金	△407	△407
投資その他の資産合計	4,498	3,325
固定資産合計	14,751	13,581
資産合計	61,854	55,498

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	23,550	20,605
短期借入金	10,892	9,449
未払法人税等	493	533
その他	2,882	2,392
流動負債合計	37,817	32,980
固定負債		
長期借入金	3,262	3,460
退職給付引当金	65	67
その他	1,398	1,338
固定負債合計	4,725	4,865
負債合計	42,543	37,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	1,853	1,853
利益剰余金	18,959	16,495
自己株式	△677	△677
株主資本合計	22,278	19,815
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	551	278
繰延ヘッジ損益	△0	3
為替換算調整勘定	△3,938	△2,911
評価・換算差額等合計	△3,386	△2,629
少数株主持分	419	466
純資産合計	19,310	17,652
負債純資産合計	61,854	55,498

(2) 四半期連結損益計算書  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	86,624	121,629
売上原価	80,827	113,343
売上総利益	5,796	8,285
販売費及び一般管理費	4,211	4,384
営業利益	1,584	3,901
営業外収益		
受取利息	23	23
受取配当金	11	28
負ののれん償却額	28	28
不動産賃貸料	57	59
持分法による投資利益	36	124
為替差益	—	19
その他	97	123
営業外収益合計	255	407
営業外費用		
支払利息	165	109
為替差損	25	—
その他	17	34
営業外費用合計	209	144
経常利益	1,630	4,164
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	1
投資有価証券売却益	23	—
固定資産売却益	—	4
その他	2	—
特別利益合計	26	6
特別損失		
投資有価証券売却損	25	—
投資有価証券評価損	27	—
関係会社整理損	79	—
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	—	0
その他	8	—
特別損失合計	141	0
税金等調整前四半期純利益	1,515	4,170
法人税、住民税及び事業税	886	1,177
法人税等調整額	△1,643	79
法人税等合計	△757	1,256
少数株主利益	66	73
四半期純利益	2,206	2,840

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,515	4,170
減価償却費	1,465	1,261
負ののれん償却額	△28	△28
貸倒引当金の増減額(△は減少)	38	15
受取利息及び受取配当金	△35	△51
支払利息	165	109
為替差損益(△は益)	△0	△0
持分法による投資損益(△は益)	△36	△124
売上債権の増減額(△は増加)	△3,630	△6,048
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,821	△5,850
未収消費税等の増減額(△は増加)	75	△157
仕入債務の増減額(△は減少)	3,387	4,980
前受金の増減額(△は減少)	△798	28
その他	642	265
小計	6,580	△1,431
利息及び配当金の受取額	76	90
利息の支払額	△152	△88
法人税等の支払額	△1,124	△1,131
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,381	△2,561
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△293	△1,241
有形固定資産の売却による収入	2	16
無形固定資産の取得による支出	△122	△119
投資有価証券の取得による支出	△217	△132
投資有価証券の売却による収入	95	67
貸付けによる支出	△0	△870
貸付金の回収による収入	0	0
関係会社出資金の払込による支出	—	△23
子会社株式の取得による支出	—	△80
子会社の清算による収入	—	96
その他	△56	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△591	△2,299
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△612	1,707
長期借入れによる収入	900	600
長期借入金の返済による支出	△1,671	△717
自己株式の取得による支出	△402	△0
配当金の支払額	△337	△375
少数株主への配当金の支払額	—	△78
その他	△126	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,250	1,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	△90	△341
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,448	△4,131
現金及び現金同等物の期首残高	5,744	9,474
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,192	5,342

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)

	電子部門 (百万円)	機械部門 (百万円)	その他部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に 対する売上高	81,451	4,991	181	86,624	—	86,624
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	37	—	37	(37)	—
計	81,451	5,028	181	86,661	(37)	86,624
営業利益又は営業損失(△)	2,599	△17	9	2,591	(1,007)	1,584

当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	電子部門 (百万円)	機械部門 (百万円)	その他部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に 対する売上高	113,385	7,977	265	121,629	—	121,629
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	948	—	948	(948)	—
計	113,385	8,926	265	122,577	(948)	121,629
営業利益	4,887	36	5	4,930	(1,028)	3,901

(注) 1 事業の区分は、商品系列区分によっております。

2 各事業部門の主要取扱品目

部門	主要取扱品目
電子部門	下記分野における完成品・組立品・基板実装品・部品単体・キット等 通信機器 (携帯電話用液晶モジュール・携帯電話用カメラモジュール等)、 車載関連機器 (カーオーディオ・メーター・フロントパネル等)、情報機器 (スキャナー・プリンター・周辺機器等)、家庭電気機器 (デジタル家電・ 薄型テレビ・エアコン・健康器具等)、産業機器 (エンジン点火装置・業務 用AV機器等)、一般電子部品など
機械部門	ワイヤーハーネス部材、オートバイ用部材、スパークプラグ等電装品、設備機 械および関連部品
その他部門	印刷インキ、化成品、雑貨、その他

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

	国内 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	米州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に 対する売上高	17,957	59,402	3,038	6,225	86,624	—	86,624
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,697	4,827	196	2,534	18,255	(18,255)	—
計	28,654	64,230	3,234	8,759	104,879	(18,255)	86,624
営業利益又は営業損失(△)	661	2,110	△552	284	2,504	(919)	1,584

当第3四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年9月30日)

	国内 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	米州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に 対する売上高	30,687	79,432	3,092	8,416	121,629	—	121,629
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,758	6,788	437	2,534	25,518	(25,518)	—
計	46,446	86,221	3,529	10,951	147,147	(25,518)	121,629
営業利益又は営業損失(△)	1,189	3,596	△188	337	4,934	(1,033)	3,901

(注) 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域

国または地域の区分の方法 . . . . . 地理的近接度によっております。

各区分に属する主な国または地域 . . . . . アジア : 中国、台湾、シンガポール、タイ、フィリピン、インドネシア

欧州 : ドイツ、スロバキア

米州 : アメリカ

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（百万円）	55,366	5,089	5,754	1,467	67,677
II 連結売上高（百万円）					86,624
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	63.9	5.9	6.6	1.7	78.1

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（百万円）	75,869	5,139	7,732	2,687	91,429
II 連結売上高（百万円）					121,629
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	62.4	4.2	6.4	2.2	75.2

(注) 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域

国または地域の区分の方法 ・・・・地理的近接度によっております。

各区分に属する主な国または地域 ・・・・アジア : 中国、台湾、シンガポール、タイ、フィリピン、インドネシア

欧州 : ルーマニア、チェコ、ドイツ、フランス

北米 : アメリカ

その他 : 中南米、オセアニア

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。